

令和5年1月31日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第385号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. 『令和5年版 スマート農業を目指す先端技術フェア on the web』好評開催中
2. 水田農業の未来を考える動画コンテンツの配信について
3. 「みどりの食料システム法」活用セミナーを開催します！（2月3日（金）「農業技術革新・連携フォーラム2022」内オンライン開催）
4. 「農業女子アワード2022」視聴者募集

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1.『令和5年版 スマート農業を目指す先端技術フェア on the web』好評開催中】

スマート農業のバーチャル展示会『令和5年版 スマート農業を目指す先端技術フェア on the web』を2023年1月7日～3月6日、オンラインで開催いたします。

ほぼ同様の時期、期間での開催で、今回で3回目を数えます。第1回公開では出展が53者でしたが、回を重ねるごとに徐々に拡充し、今回は70者から構成されるリニューアル開催となりました。農業課題を解決するさまざまな先端技術がweb上で一堂に会し、じっくりと先端技術を理解して導入検討できる幸便な機会となっています。

◇入場はこちら

<https://smart-agri-fair.com/>

◇お問い合わせ先

公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会（担当；石脇）

TEL：03-3509-1161

【2. 水田農業の未来を考える動画コンテンツの配信について】

農林水産省では、水田農業における需要に応じた生産・販売を推進するための政策を推進していますが、これらの政策を進める背景や支援策の内容を分かりやすくまとめた動画を作成しました。

具体的には、令和5年産の水田農業における作付計画や中長期的な産地づくりの方針などを検討

する際の参考となるよう、水田農業の取組方針、畑地化や飼料用米の支援のあり方、米の輸出、麦、大豆などの各品目の最新の需給動向などの情報をまとめて解説しています。

YouTube (maffchannel) にて、以下の 11 タイトル (※) を公開していますので、地域における産地づくりの話し合いの際などに是非ご活用ください！

- (1-1) 令和 5 年産に向けた水田農業の取組方針
- (1-2) 【令和 4 年度補正編】 令和 5 年産に向けた水田関連予算について
- (1-3) 【令和 5 年度当初編】 令和 5 年産に向けた水田関連予算について
- (2) 米の輸出をめぐる状況について
- (3) 米粉をめぐる状況について
- (4) 需要に応じた麦生産
- (5) 大豆の需要について
- (6) 野菜の需給動向等について ※ 近日公開予定
- (7) 果樹の需給動向等について
- (8) 土づくり（地力増進作物）・有機農業
- (9) 水田における飼料作物（青刈りとうもろこし等）の生産拡大について

昨年は計 2.2 万回もの再生をいただきました。皆様も一緒に水田農業の未来について考えてみませんか？

◇動画はこちら（再生リスト：令和 5 年産に向けた水田農業の取組方針）

<https://youtube.com/playlist?list=PLMvvhD9xvwf1SmCIHpzqYA8sDr6w3Sfc1>

◇お問い合わせ先

農林水産省農産局企画課水田農業対策室（担当；土地利用型農業調整班）

TEL：03-6744-7135（直通）

【3. 「みどりの食料システム法」活用セミナーを開催します！（2月3日（金）「農業技術革新・連携フォーラム2022」内オンライン開催）】

農林水産省は、令和 3 年 5 月に、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立に向けた「みどりの食料システム戦略」を策定しました。同戦略の実現に向けた法的枠組みとして、令和 4 年 7 月に「みどりの食料システム法」が施行され、同法に基づき、化学肥料や化学農薬の使用低減など環境負荷の低減に役立つ技術の普及拡大を支援しています。

このたび、制度のさらなる活用促進に向けて、2月3日（金）に「農業技術革新・連携フォーラム2022」（主催：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、日本経済団体連合会、日本農業法人協会、株式会社クニエ）において、同法の活用ウェブセミナーを開催します。

セミナーでは農水省担当官から制度に関する説明を行うほか、実際に同法の認定を受けた各事業者から技術や取組についてピッチ形式でご紹介します。農業分野においてSDGsを踏まえた事業展開をお考えの方は、この機会にぜひご視聴ください。

ウェブセミナーの視聴には事前登録が必要となります。詳細及び参加登録はリンク先からご覧ください。

◇開催日程

令和5年2月3日（金曜日）13:30～15:30（予定）

◇詳しくはこちら

<https://hojin.or.jp/information/forum2022/>

◇お問い合わせ先

農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ（担当；伊藤、鎌田）

TEL：03-6744-7186（直通）

【4.「農業女子アワード2022」視聴者募集】

全国の女性農業者や若者、農業経営者が提案する今後の食・農・くらしの活性化に向けたビジネスアイデアコンテスト「農業女子アワード2022」（主催：（株）マイファーム、後援：農林水産省）のファイナリストが決定！2月14日（火）に最終審査と表彰式が行われます。

当日は各部門3名のファイナリストの応募動画（3分程度）を審査員6名が審査し、最優秀賞を決定します。

アワード当日の審査と表彰の様子はどなたでも視聴できますので、ぜひ以下のURLよりお申し込みください。

<農業女子アワード2022>

開催日時：2月14日（火）13:00～16:30

◇視聴お申込はこちら

<https://tayori.com/f/nougyoujoshi2022-viewing/>

◇農業女子アワードの詳細はこちら

https://myfarm.co.jp/women/nougyoujoshi_award2022/

◇お問い合わせ先

農業女子アワード 2022 事務局（株式会社マイファーム）

TEL：050-3343-7441

MAIL：nougyoujoshi_award2022@myfarm.co.jp

◆◆◆編集後記◆◆◆

さて、本配信が新年最初の配信です。本年も農業担い手メールマガジンをどうぞよろしくお願いいたします。新年の言葉には初詣や農始など、初〇〇や〇〇始といった季語が多くありますが、皆様におかれましてはどんな新年を迎えられたでしょうか。東京においても先日初雪を観測するなど、全国的に記録的な寒波が襲来し、今後も寒い日が続きます。皆様におかれましては、引き続き防寒・積雪対策等を怠らずにお過ごしいただければ幸いです。（高橋）

■ 経営局公式 Facebook ページ「農水省・農業経営者 net」

→ <https://www.facebook.com/nogyokeiei>

■ ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html>

■ リンク URL の一部に PDF 形式のものがあります

メールマガジンに記載した URL で、一部 PDF 形式のものがあります。PDF ファイルをご覧いただくためには、農林水産省ホームページ「3 PDF ファイルについて」をご覧になり、「GetAdobeReader」のアイコンで AdobeReader をダウンロードしてください。

→ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>



○ 電子出版：農業担い手メールマガジン

○ 発行日：毎月 1 回発行

○ 発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：小嶋、高橋

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ https://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

